

第6回由良川減災対策協議会 議事概要

日時：令和元年5月31日（金）15:00～16:00

場所：福知山市消防防災センター 2階研修室

【出席者（順不同）】

京都府 富山建設交通部長

京都地方気象台 瀧台長

福知山河川国道事務所 矢野所長

（以下代理出席）

福知山市 伊東副市長（大橋市長代理）

舞鶴市 矢谷建設部長（多々見市長代理）

綾部市 白波瀬市長公室長（山崎市長代理）

宮津市 今井副市長（城崎市長代理）

関西電力株式会社 角田所長代理（小野所長代理）

議事1：規約の改正（資料-1）

- ・ 質疑応答なし

議事2：幹事会の報告について（資料-2）

- ・ 質疑応答なし

議事3：取組項目の変更及び追加（資料-3,4）

- ・ 質疑応答なし

議事4：各機関の取組方針の進捗状況（資料-5）

<福知山市>

- ・ 市民の方への情報の伝達に関して、福知山市の防災行政無線はアナログであるので、デジタル化を今年度と来年度で取り組む予定である。
- ・ 内水対策の場合は、樋門が閉まるタイミングや、また閉まってから内水が増えていく現象が支川ごとに変わるため、支川単位でのリスク情報の提供等、ハードの内水対策と合わせて検討しており、府や国の協力をいただきたい。
- ・ 避難への情報提供、避難の誘導、避難先の対応、近年の非常に厳しい気象条件、過疎化の状況などの課題を踏まえ、避難のあり方を2年間かけて検討していきたいので、関係機関の協力をお願いしたい。

<舞鶴市>

- ・ 出水期を迎えるに当たり由良川沿川の各自治会で説明会を実施することになっている。この説明会においては、福知山河川国道事務所から由良川の想定最大規模の洪水浸水想定の説明や、また今年度については大野ダム担当者からダムについての話もしていただく。
- ・ これまで舞鶴市の高齢者の話では、大体福知山で水位がどれぐらいになったら、何時間後に志高地区や大川地区では大体どれぐらいになるので、そろそろ避難をしなければいけないなど、減災対策や避難に関しては、水害の被害を受けない地域の方々と比較するとともに非常に高い意識を持っていたが、上流の改修で状況が変化している。河川の改修による洪水到達時間の変化というものも伝えていく必要がある。このため、由良川についての説明会やハザードマップの作成を通じて、浸水リスクの理解を促進し、内水が発生した時には冷静に避難行動につなげてもらえるよう、機会ごとに、減災対策教育の機会を増やしていきたい。

<綾部市>

- ・ 昨年は3人の方が死亡する大きな被害が起こり、防災情報、避難情報をどう伝達して、その伝わった情報を生かしていかに避難をしていただくかを検討し、避難の実効性を上げていくということが大事である。
- ・ 綾部市内の自治会を対象に自主防災のネットワークを作っており、ネットワーク会議を5月に実施した。この研修会で、避難情報のタイムラインの作成について、施福寺地区で指導してもらった講師から説明があった。施福寺地区の取組を紹介していただいたが、全地区に周知していく中で自助、共助の意識を高めていくことが必要である。
- ・ 本年度から地域のタイムライン作成の取組を進めていきたい。

<宮津市>

- ・ ソフト対策として地域ごとの避難行動のタイムラインの作成を推進するため、本日から地域の説明会等を順次実施していく。
- ・ ハード対策では、暴風時には防災行政無線の屋外放送が聞きにくいことから、自治会等が保有する有線放送と防災行政無線との連携の取組を進めて、市民への避難情報の伝達向上を推進していきたいと考えている。
- ・ これまでの災害の教訓等を生かして、今後地域防災計画等も見直しを図り、関係機関との連携体制も強化していきたい。

<京都府>

- ・ 大野ダムから令和元年度の取組について、放流連絡様式の変更と、ホームページの更新、事前放流の実施に向けた取組について情報提供があった。

- ・ 大野ダム総合管理事務所のホームページ更新は令和元年6月末頃を予定しているが、ライブカメラ映像は秋頃になる。

<京都地方気象台>

- ・ より精度の高い、より使いやすい情報提供に努めていく。

その他

<近畿地整水害予報センター>

- ・ 水害リスクラインによる水位情報の提供について説明が行われた。

以上